

リーディングカンパニー

東京農工大学同窓会共催

グローバル戦略

オンライン合同企業説明会 2022

3月1日（火）～3日（木）の3日間

同窓会が推奨する厳選12社に参加しよう！

👉 まだ間に合う 有力企業への挑戦

独創技術

トップシェア

大変身

新事業展開

3月1日（火）

日用品 サーモス	魔法瓶のパイオニアとして、その名を知らない人はいないだろう。断熱と金属加工の蓄積技術では文字通り世界トップクラスの実力を誇る。今後も技術部門とマーケティング部門の連携プレーによる成果を重視。高品質にこだわったオリジナル新製品の開発ラッシュには目が離せない。
化学 大日精化工業	創業以来の顔料事業を軸に、化成品、インキ、合成樹脂などを幅広く手掛ける。創造性豊かな“彩り”の世界を演出する化学メーカーとして成長し続け、プラスチック着色剤では国内首位の座を堅守してきた。独自技術を深化させてライフサイエンスやエレクトロニクスなど新規分野での取り組みに一層の磨きをかける。
精密機器 富士フィルムビジネス イノベーション	昨春、旧「富士ゼロックス」からの社名変更で一躍話題になった。そこには、得意とするドキュメント関連領域での事業拡大に加えて、有望な未踏領域の開拓にける意気込みが鮮明に浮かびあがってくる。“富士フィルム”ブランド下での新たな戦略が期待される。農工大の卒業生も優に100名を超える。将来の芽を育てる若きチャレンジャーは歓迎だろう。
機械 やまびこ	何と言っても国内シェアNO.1の小型屋外作業機械が注目の的。農林業用や庭園管理用の独自機械ブランドも多くのユーザーから好評で、世界各国の省力化ニーズに大きく貢献中。一般向けチェーンソーでは全世界同一バッテリー製品の実用化も図るなど、更なる大量普及に意欲をみせる。

3月2日（水）

食品・水産 極洋	生活に欠かせない「食」分野での拡大発展が大きな目標。水産物会社から総合食品会社への飛躍を狙う姿勢が垣間見れる。期待する冷凍食品部門では、強みであるシーフードだけにとどまらず、畜肉類や野菜などにまで手を広げた。常温食品部門でも健康ニーズの高い青魚缶詰などの品揃えを強化している。
電子・電気 東京エレクトロン	半導体とフラットパネルディスプレイ産業の高付加価値化を支えてきた。それらの製造装置では、国内業界トップのリーディングカンパニーである。海外市場開拓の実績も際立っている。今後も「グリーン・デジタル社会」時代に応えて、ワールドワイドな迫力あるビジネス推進が見込まれる。
印刷関連 凸版印刷	もはや、社名から連想される印刷事業の専門とは程遠い。現に「健康・ライフサイエンス」「教育・文化交流」「都市空間・モビリティ」「エネルギー・食料資源」の4つを成長領域として掲げる。目指すは社会価値創造型企業としての躍進であろう。若い年代層の活躍の場が広いことも評判になっている。
精密機器 ニコン	精密と光学のリーディングカンパニーで、一眼レフカメラでは一世を風靡し、液晶露光装置でも優れた実績がある。ヘルスケア領域、デジタルマニュファクチャリング領域などでの事業育成にも力を入れる。研究部門の集約化構想を打ち出し、開発体制を大幅に強化しつつある。次なる一手がますます注目される。

3月3日（木）

化学 サンエー化研	軽包装、産業資材、液晶関連機能性材料を3本柱にした多彩な商品展開が軌道に乗る。最先端の機能性フィルム技術をモノづくりにつなげる開発力は高水準。今後も食品から医療品、日用品、精密部品などに至るまでの幅広い分野を対象に、プラスチック複合加工の中核メーカーとして飽くなき挑戦を続ける。
総合電機 パナソニック	日常生活で「Panasonic」のロゴマークを目にしない日はないかもしれない。豊かな生活と社会の発展に役立つ数多くの技術・サービスを提供している。伝統ある家電部門では、IoT対応製品の拡充に本腰を入れている。「事業は人にあり」の創業者精神を受け継ぐ人材育成策などは話題が絶えない。新卒で通年採用を取り入れている点も魅力だろう。
通信機器 PFU	業務用イメージスキャナーでは世界一を誇る。セキュリティ製品群の中にも国内トップの製品が目白押し。独創的な技術力と発想力から生まれたICTソリューションの提供が“売り”で、常に新たな価値創造に向けて前進。海外グループ10社によるグローバル展開にも余念がない。
機械 ファナック	モノづくりには欠かせないFA（ファクトリーオートメーション）の大手サプライヤーとして輝かしい実績。その基本技術を応用したロボット事業、ロボマシン事業には全世界の目が集まる。アーム作動範囲の広い大型ロボットの量産も開始した。従業員の約3分の1が商品開発担当の研究者というプロ集団のイメージも定着している。